

## 墨田区の基金運用におけるSDGsへの取組について

墨田区では持続可能な開発目標（以下「SDGs」という。）の達成に向けて、SDGsに関する施策を総合的かつ効果的に推進しています。

その一環として、基金運用においては安全性や運用効率を確保しながら、SDGs債（ESG債）を購入しています。

投資した資金がSDGsの推進に活用されることを通じて、社会貢献に取り組むとともに、運用から得られた利息については、区が掲げる基本構想・基本計画の目標達成に向けて、有効に活用しています。

※SDGs債（ESG債）とは：グリーンボンド、ソーシャルボンド、サステナビリティボンドなどの総称です。グリーンボンドは環境や気候変動などの課題、ソーシャルボンドは社会的課題、サステナビリティボンドはその両方の課題解決などに資するプロジェクトの資金調達のために発行される債券です。

※基金とは：条例の定めるところにより、特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て、又は定額の資金を運用するために設けられているものです。

積立基金運用状況（令和6年度末時点）

金融商品内訳（割合）

預金	債券
87.92%	12.08%

預金内訳（金融機関別）

都市銀行	地方銀行	信用金庫
61.53%	23.55%	14.92%

債券内訳（発行種別割合）

国債	地方債	政府保証債	財投機関債等
0%	14.29%	0%	85.71%

※本区が所有する地方債：共同発行市場公募地方債

※本区が所有する財投機関債等：地方公共団体金融機構債、高速道路株式会社債

実質利回り等

積立基金残高	利息	実質利回り
57,953,937,225円	60,871,339円	0.11%

（参考）積立基金以外の歳計現金等の利息：5,373,268円

※流動性の確保について：墨田区では、利率の良い債券を一定割合保有するとともに、安全性、流動性（換金のしやすさ）等の観点から、次の割合で基金運用を行っています。

債券	定期預金	普通預金
12.08%	45.04%	42.88%

※令和8年度の基金運用計画について：今後の財政推計等を勘案しながら、債券運用の割合を増やしていく方針です。